

理学研究科化学専攻博士後期課程履修モデル

2020年4月1日

	講義		研究指導
	社会性・国際性を養う科目群		
科目区分	一般教養科目(学年を問わない) ※4単位修得		指導教員による指導制
研究の中心領域	倫理観・社会への応用・環境・安全性等を学ぶ科目	化学系の先端的研究を国際性も含めて広い視野で幅広く学ぶ科目	◎ 選択必修科目
無機及び分析化学 有機化学 物理化学	知財情報科学(1単位) 環境安全科学(1単位)	サイエンス・ライティング(2単位) ウォーターサイエンス特論(2単位) 英語プレゼンテーション講座(1単位)	◎分子集積・分子科学研究1/合成・反応有機化学研究1/機能・生体材料化学研究1/エネルギー・環境科学研究1(10単位)(1年～3年) ◎分子集積・分子科学研究2/合成・反応有機化学研究2/機能・生体材料化学研究2/エネルギー・環境科学研究2(10単位)(1年～3年) ◎分子集積・分子科学研究3/合成・反応有機化学研究3/機能・生体材料化学研究3/エネルギー・環境科学研究3(10単位)(1年～3年) 1年 先行研究の調査 最終目標の設定 研究計画立案 研究活動・研究室ゼミ 2年 自立的研究活動・研究室ゼミ 国内外での学会・シンポジウム等で発表・意見交換 学術論文作成・投稿 3年 自立的先端研究活動・研究室ゼミ 国内外での学会・シンポジウム等で発表・意見交換 学術論文作成・投稿 博士論文作成、公聴会での発表、学位審査請求、提出、学位取得

修了後の進路	大学のポストドクトラルフェロー・教員 中学高等学校教員 企業(化学メーカー他)等の開発技術者・研究者 公務員 他
--------	--